



©dak

# 園長だより



先月は紹介しきれませんでしたので、子供との争いを避ける方法のいくつかを紹介したいと思います。

**できる限り選択権を与える。**可能な限り、子供にオプションを提示して、選択権を与えることは大事です。「今寝る準備をして、本を読んであげようか？それとも、もう少し遊ぶ？その場合、本はなしで、15分のタイマーが鳴ったら寝ないといけないよ。どっちがいい？」という具合です。あるいは、選択権を与えられない時には、付随した選択を与えてみるのも良いかもしれません。「保育園に行こうね。（これは選択権がない）ぬいぐるみか、ミニカーか、どっちを車に持っていく？」と言った具合です。

**子どもにできることを要求する。**到底できないことを指示しても、子供は困るだけです。

**なぜかを説明する。**「何で？」という質問に、「お母さん／お父さんが言ったから」という答えはどの年代の子供にとっても、従うモチベーションを上げる答えではありません。例えば、「靴を脱いでから家に入らないと、床が泥んこになるでしょ？」や「おもちゃを貸してあげると、自分だけじゃなくて、みんな楽しく遊べるよね？」などと説明するとよいかもしれません。

**子どもと口論するのはやめましょう。**子供はお話し上手になると、親が言ったことに対して、「何で夕ご飯の準備をしないといけないの？」「何で〇〇（兄弟など）はしなくていいの？」など様々な質問をし、言い合いになってしまうことがあります。そして、親は何をお願いしたのかを忘れてしまったり、イライラして自分でそのことをやってしまうことがあるかもしれません。そのような時には、1. 言い合いをすぐにやめ、親の要求に抵抗する理由を確認し、もう一度要求を言う。「もっと遊んでいたいのはわかるけど、もう食べる時間だから、急いでテーブルの準備をしてちょうだい。そして、電車で遊んでもいいよ。ほら、一緒にやろうね。」そして、2. 要求変えるつもりがないということがはっきりと伝わる、しっかりと落ち着いた口調で要求を述べ続けることです。例えば、「プラレールのセットを片付けて、部屋に持って行ってちょうだい」との要求。子供が抵抗し、言い合いをしようとしたら、全く同じ言葉で要求を繰り返し言うのです。声を荒げて、自分がイライラしているところを見せてはいけません。あえて落ち着いた口調で、根気強く、子供が従うまで言い続けるのです。

**できるならば、子供が一番言うことを聞く可能性が高いときに要求をする。**子供が何か違うことをしている時は、それが終わるまで待ってから「〇〇して」と要求する。一日がうまくいかずに、子供の機嫌が悪いときには、落ち着くまで待つ。あるいは子供がいくつかすでに親の要求を満たした後は、しばらく時間をおいてから次の要求をする。という具合に、子供が従いやすい環境を作ってあげることも大切です。

**絶対にすぐにはしないといけない場合を除き、子供がすぐに従うことを強要しない。**子供がすぐに言うことを聞くことができるように教えたものですよ。すぐにやってほしい場合は、それを声のトーンや言葉で表すことができます。しかし、子供がすぐに反応しないというのは、反抗しているのではなく、反応の速度が遅いという場合もあるかもしれません。もしかして数分かかる場合もあるかもしれませんが、子供が従うように強制するよりも、論じて言うことを聞かせた方がいいですよ。そしてもちろん、1回目に従ってくれた時には、ほめることも忘れないようにしたいですね。

2018年10月31日

石川三育保育園 園長 ミラー・ジョエル